

設 立 趣 旨 書

1 趣旨

社会の次世代の担い手となる子どもたちの健全な発達を促すためには、まず安心安全な学校環境を準備し、その上で質の高い教育システムを展開する必要があります。しかしながら現在の学校教育においては、いじめ、不登校、自殺など深刻な教育課題が山積しており、その基盤が大きく揺らいでいます。

背景として考えられる事柄として、核家族化を含めた家族構造の変化にともなう家庭内の人的資源不足、食生活や睡眠リズムの乱れなどの不適切な生活習慣、ゲームの普及や少子化に伴う子ども集団による遊びの崩壊や自然体験の不足などがあり、社会環境の変化などに伴う社会全体のストレス増大や相対的貧困の拡大がこれらの事柄を深刻化させています。

また、急激な社会の変化に伴い社会で必要とされる資質も変化しており、それに対応するための新しい教育方法の開発および習得が教師に求められる一方、「人としてどうあるべきか」という普遍的な価値観の共通認識が失われ、教師も子どもたちも何を生き方の基準とすべきなのかわからず混乱が生じています。

さらに、社会全体のストレス増大や価値観の多様化を背景とし、学校に対して理不尽な要求を繰り返す保護者も出現し、教師はその対応にも多くのエネルギーを費やさざるを得なくなっている現実もあります。

これらの課題に対応するため、教師には教育者としてより高い資質が求められるようになってきました。また、教師が個々の事例への対応などの教育活動上の課題を解決できず、困難を抱えてしまう場合もあります。しかしながら教師に対するこれらの側面への社会的支援は十分であるとは言えません。

そのため私たちは、教師など子どもの教育に携わる人々に対して、子どもの可能性を最大限に伸ばす教育活動が行えるよう、教育者としてのスキルアップを支援する活動を通して、子どもの健全育成に寄与することを目的に活動を展開していきたいと考えています。

このような活動を行うにあたって、公正かつ透明性の高い運営を行い社会的な信用を得て幅広く活動していく上で法人化は必須であると考えます。事業目的は非営利であり特定非営利活動法人の設立が望ましいと考えています。

皆さまのご支援をお願いいたします。

2 申請に至るまでの経過

平成 21 年 4 月 不登校問題への支援を目的とし、高野山真言宗真言寺の外郭団体として不登校支援ネットワークを立ち上げ。スタッフは教師、臨床心理士、学校心理士、幼児教育関係者などであった。

平成 22 年 6 月 保護者・教師などを対象として第 1 回ワークショップを開催。内容は不登校支援に関わる内容である。以後年に 1 回のペースで継続的に開催。

平成 29 年 1 月 よりしっかりとした基盤と幅広い活動を展開するため、上記趣旨に賛同を得た 4 人で発起人会設立。

平成 29 年 1 月から 3 月まで 設立趣意書およびその他総会資料作成のための発起人会開催

平成 29 年 3 月 総会を開催し、法人設立を議決。以降今日に至る。

平成 29 年 3 月 20 日

法人名 NPO 法人教育支援ネットワークとらすと
設立代表者 住所 熊本県合志市幾久富 1 9 0 9 番地 1 2 2 0
氏名 豊永 亨輔 印